

# 帯畜大学長候補に長沢氏

前学長 実績重視 異例の選出へ

## 統合3国立大学 帯広・小樽・北見

【帯広】帯広畜産大が、次期学長の候補者として前学長の長沢秀行氏(67)を選出する方針を固めたことが10日、分かった。現学長の奥田潔氏(69)は、2期目の任期が満了する3月末で勇退する。長沢氏は文部科学相の承認を得た後、同大を運営する北海道国立大学機構(帯広)の理事長から学長に任命される予定。

任期は4月1日からの4年間。学長を退任後、再び学長に就任するのは異例。次期学長は小樽商科大、北見工業大との経営統合後の大学運営を軌道に乗せる重責を担うため、実績のある長沢氏が適任だと判断したとみられる。帯広畜産大では、教員らが推薦した人を対象に、学長選考会議で候補者の選考を行ってきた。

長沢氏は旭川市出身。帯畜大副学長などを経て、2008～15年、同大学長を務めた。16年に公益財団法人とかち財団(帯広)理事長に就任し、昨年10月に退任した。(小坂真希、高橋澄恵)